

インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年11月28日
聖日礼拝

待降節講壇1

「信じる者の幸い」

ルカの福音書1章26-45節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ルカの福音書1章26-45節

26 ところで、その六か月目に、
御使いガブリエルが、
神から遣わされて
ガリラヤのナザレという町の
ひとりの処女のところに来た。

27 この処女は、
ダビデの家系のヨセフという人
のいいなずけで、
名をマリヤといった。

28 御使いは、入って来ると、
マリヤに言った。
「おめでとう、恵まれた方。
主があなたとともに
おられます。」

29 しかし、
マリヤはこのことばに、
ひどくとまどって、
これはいったい何のあいさつか
と考え込んだ。

30 すると御使いが言った。
「こわがることはない。マリヤ。
あなたは神から恵みを
受けたのです。

31 ご覧なさい。
あなたはみごもって、
男の子を産みます。
名をイエスとつけなさい。

32 その子はすぐれた者となり、
いと高き方の子と呼ばれます。
また、
神である主は彼に
その父ダビデの王位を
お与えになります。

33 彼はとこしえに
ヤコブの家を治め、
その国は終わることが
ありません。」

34 そこで、

マリヤは御使いに言った。

「どうしてそのようなことになりえましょう。

私はまだ男の人を

知りませんのに。」

35 御使いは答えて言った。

「聖霊があなたの上に臨み、
いと高き方の力が
あなたをおおいます。
それゆえ、
生まれる者は、
聖なる者、神の子と呼ばれます。」

36 ご覧なさい。

あなたの親類のエリサベツも、
あの年になって
男の子を宿しています。
不妊の女といわれていた人
なのに、
今はもう六か月です。

37 神にとって不可能なことは
一つもありません。」

38 マリヤは言った。

「ほんとうに、
私は主のはしためです。
どうぞ、
あなたのおことばどおり
この身になりますように。」
こうして御使いは
彼女から去って行った。

39 そのころ、マリヤは立って、
山地にあるユダの町に急いだ。

40 そしてザカリヤの家に行って、
エリサベツにあいさつした。

41 エリサベツが
マリヤのあいさつを聞いたとき、
子が胎内でおどり、
エリサベツは聖霊に満たされた。

42 そして大声をあげて言った。

「あなたは女の中の
祝福された方。
あなたの胎の実も
祝福されています。

43 私の主の母が

私のところに来られるとは、
何ということでしょう。

44 ほんとうに、
あなたのあいさつの声が
私の耳に入ったとき、
私の胎内で
子どもが喜んでおどりました。

45 主によって語られたことは
必ず実現すると信じきった人は、
何と幸いなことでしょう。」

説教

待降節講壇 1

「信じる者の幸い」

ルカの福音書**1章26節-45節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「主によって語られたことは
必ず実現すると信じきった人は、
何と幸いなことでしょう。」

(ルカ1：45)

A. エリサベツの賛歌：その背景

1. エリサベツの人となり

- ・ 名前：「神は、私の誓い」
- ・ 部族：アロンの子孫（レビ族）
- ・ ザカリヤとの信仰生活：
「正しく、落ち度なく・・・」
- ・ 悩み：子供が与えられないこと

2. 驚くべき知らせ

- ・ ザカリヤへのみ告げ：
救い主の先駆者の誕生
- ・ エリサベツの信仰的受容
- ・ マリヤの来訪：
ナザレからユダ山地への旅を経て
感動の対面

B. エリサベツの賛歌：その内容 「信じるものの幸い」

1. 45節の正確な意味

- 「ということ」 (ホティ) の
解釈：
「なぜならば」 (**because**) と
いう意味もあるが、
この場合は
「ということ」 (**that**) であろう

- 信じた人：女性単数＝マリヤ
- 信じきった：
「信じる」のアオリスト時制
- 「主によって彼女に対して
語られた」
＝個人的な語り掛け

2. 信じなかった者の不幸

- ・ ザカリヤ：
必ず実現すべき神の言葉
(1：20)への不信
- ・ トマス：見なければ信じない
態度
- ・ イスラエル王の側近：
食料供給の予言を信ぜず、自滅

3. 信じるとは

- 祝福の神を信じる：
(創世記**12**：1－3)
私たちは既に祝福されている
- 神の言葉の真実性を信じる：
神においては言葉＝行動
- 神の全能を信じる：
神に不可能はない

4. 信じたマリヤの祝福

- ・ マリヤの質問：
道筋に関する質問
- ・ マリヤの応答：
「あなたのおことばどおり
この身になりますように」

終わりに：

課題の大きさを認めつつも
祝福の約束を信じよう